

2. 機材の搬入

(1) 搬入スペースの確保

設置エリア内に障害物がないようにして下さい。

設置箇所には、出来るだけ機材を置かないよう、通路部分に搬入して下さい。

(2) 搬入 レール・駐輪ユニット・工具類を建物等に接触しないよう注意しながら搬入します。



注1 駐輪機設置箇所に、機材等を置くと作業がやりにくいです。

注2 レールセンターラインは目安です。実際にユニットを置き、壁(障害物)との隙間(最低20mm)を確認して設置して下さい。

注3 ()寸法は、SRK-4(前後式FLタイプ)の場合です。

3. レールの設置

(1) 仮置き

平面図に従ってレールを配置していきます。

全体の配置に間違いが無いかな平面図と確認した後、レールのジョイント部を挿入し連結していきます。

(2) レールのジョイント

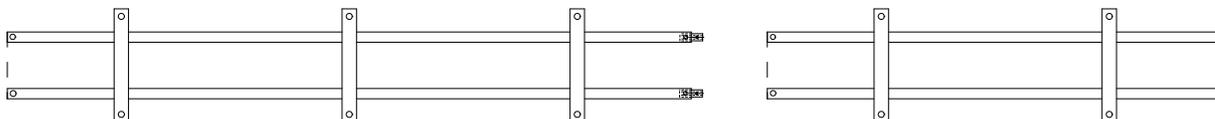
ジョイント部挿入に際し、入りにくい場合は、ジョイント金具固定セットボルトを少し緩めて下さい。

レール挿入後、片側の穴よりM6ボルトをセットし、全てのボルトを締めて固定します。

この時、隙間・段差の生じないように、しっかりと固定してください。

<テクニック1>

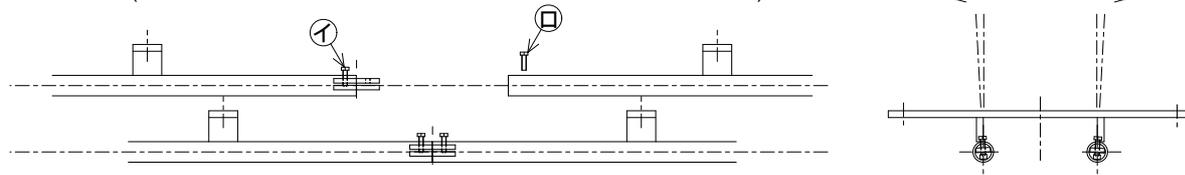
ジョイント部のボルトが締めやすいように、レールを裏返しにして、3本程づつ連結していきます。



<テクニック2>

ジョイント部のボルトは、やや外寄りに固定します。

(内側に傾くと、ユニットと干渉する恐れがあります)



ジョイント金具のイのボルトを少し緩め、

レールを差し込みます。

付属のボルトロを締めていきます。